

個人差の客観的評価の研究開発

概要

人の性格は様々です。痛みの感じ方にも個人差があります。同じ刺激でも感じる痛みの強さはそれぞれです。その理由の一つは、痛みの感覚を脳で処理する速さや、強い痛みが少し和らいただけで楽に感じる「オフセット鎮痛*」という痛みを和らげる働きに個人差があるためです。私たちは、これらの違いがその人の性格傾向とどう関連するかを研究しています。

特徴

- **痛みの個人差の客観的評価：** 痛みの感じ方や痛みが和らぐ速さの個人差を科学的な手法で調べました。
- **性格との関連を解明：** 痛みの感じ方の個人差が、内向性や神経質さといった性格傾向とどう関係するかを明らかにしました。
- **慢性痛患者の性格傾向との共通点の探索：** 健康な人の中にも、慢性痛患者と共通する痛みの感じ方や性格傾向があることを発見しました。

今後の展開

- 人の性格の違いを客観的指標を基に分類し、新たな指標を確立することを目指します。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 痛みの感じ方の個人差を科学的に解明することで、慢性痛に苦しむ人々を助け、予防に役立てます。また、この研究は私たちが自身の体のサインに気づくヒントとなり、一人ひとりのより良い生活に貢献します。

* オフセット鎮痛 (Offset Analgesia : OA)

